

令和7年度 学校自己評価

認定こども園こどもむら さくらのもり

目指す子ども園像	・子ども達に未来を切り拓く能力を育む ・保育者も共に学び、成長していくこども園 ・地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園
重点目標	・認定こども園教育保育要領に沿い、子どもの様子から保育過程を見直し、未来を切り拓く力を育む。 ・保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。 ・地域と協働し、子ども・子育ての環境を広げていく。 ・保健衛生及び安全管理に取り組み、安心安全な保育環境に努める。

番号	観点	具体的評価内容	評価	
			4 十分達成できている 3 達成できている 2 あまり達成できていない 1 達成できていない	
			評価	意見や改善策等
1	園の教育・保育目標	本年度の本園の重点目標を念頭にして教育活動に取り組む	3.6	保育計画に基づき保育の評価を行い、見直しを行った。改善点を確認し意見を交換しながら工夫していく。
2	保育環境	園児が日々チャレンジできる環境づくりに取り組む	3.8	連携施設の公開保育を行い、室内の環境を見直すことが出来た。いろいろな経験や体験が出来るよう取り組んでいく。
3	健康な身体	見通しをもって行動し、健康で安全な生活を送る	3.8	遊びの提供や導くことによって体を思う存分動かすことが出来た。健康で、安全な生活ができるようにしていく。
4	健やかなこころ	園における生活の中で充実感を持って自分のやりたいことをする	3.7	保育者との信頼関係を築き安心して自分の好きな遊びを楽しむことができた。より良い保育実践を計画していく。
5	人間関係	相手の気持ちに共感し思いやりの気持ちを持ち、接する	3.8	友だちとの関わりが深まり楽しめるよう工夫した。自分の思いを伝えたり異年齢での交流を多く持つ事で思いやりの気持ちが育った。
6	言葉	自分の意見を伝え相手の話を聞き理解する	3.7	遊びの中で自分の気持ちを伝えたり相手とコミュニケーションを楽しむ姿が見られた。気持ちに共感して自分の気持ちを伝えられるようにしていく。
7	表現	感じたことや考えたことを自分で表現する喜びを味わい意欲を持つ	3.7	文字や数に興味を持てるよう遊びの中で工夫した。いろいろな素材に触れ造形活動を行ったり、音楽に親しみ歌や楽器、身体を動かす事を楽しめた。
8	知識及び技能の基礎	いろいろな体験を通して感じたり気づいたり分かったりできるようにする	3.8	日常の何気ない事でも気づいた事など子ども達との会話を楽しむ事が出来た。いろいろな体験ができるよう遊びを計画していく。
9	思考力、判断力の基礎	気づいた事や出来るようになった事を考え、試し、工夫し、表現したりする	3.7	自分たちで決められるような取り組みをする事で協力して作り上げる大切さを知った。自ら挑戦したり工夫できる取り組みをしていきたい。
10	主体性、学びに向かう力の基礎	身近な環境に主体的に関わり、心情、意欲、態度が育つ中で生活をする	3.7	食育や異年齢活動に意欲的に取り組み思いやりを持つ姿が育った。新しいことに興味を持てる計画をしていく。
11	安全・安心	避難訓練、交通安全、防犯、お散歩マップを作成し安全指導に取り組む	3.9	毎日の避難訓練を保護者にその都度ハグノートアプリを使って発信することで理解を深めた。お散歩マップを利用し、危険な場所など話し合い職員間で共通認識していく。
12	小学校との接続 (5歳児のみ)	近隣の小学校へ訪問したり、学童と交流をして小学校への期待が高まるように準備する	3.8	近隣の小学校を訪問して小学校生活への期待が高まるようにした。就学に向けて幼稚園や学童と交流することで不安や緊張をほぐし、期待や見通しが持てるようにしていく。
13	保護者支援・子育て支援	一時預かりや保護者懇談会、栄養、健康相談に取り組む	3.6	送迎時に保護者と積極的にコミュニケーションをとり親身な対応をした。今後も会話を多く持ち安心して預けられるよう心掛けていく。
14	地域との協働	子ども子育て関係の情報発信や地域貢献に取り組む	3.7	地域の子育て支援として園のランチを食べて頂く機会を設けたり行事に参加してもらおう事で地域の保護者と話をすることが出来た。多くの地域の方に参加してもらえるように発信していく。
15	職員の成長	職員研修の充実と働き方の改善に取り組む	3.6	職員で協力してチームワークで保育を行ってきた。不適切な保育や安全面など職員間でコミュニケーションをとり、確認していく余裕を持った配置で休憩を取りやすいようにする。